

歯科診療補助法

講師	星野 菜緒 東 美穂	実施時期 単位数	第2学年前・後期 2単位 (80時間)	実務経験	○
一般目標 (GIO)	専門的な歯科診療の補助に対応するため、必要な知識、技術を身につける				
授業概要	歯科衛生士の三大業務のひとつである歯科診療補助についてその内容を理解し、患者への配慮をしながら、診療の流れに沿ってスムーズに補助できる手技を身につける。				
学習方法	講義・実習				
成績評価の方法	前期は定期試験をおおよそ80%、残り20%は課題、授業態度、出席状況等を総合し評価する。 後期は定期試験をおおよそ50%、40%は実技試験、10%は課題、授業態度、出席状況を総合し評価する。				
教科書	全国歯科衛生士教育協議会(監) 歯科衛生学シリーズ 「歯科診療補助論」「歯科材料」「歯科機器」 医歯薬出版 その他臨床系教本				
履修上の注意	他教科との関連も含め、幅広い知識が必要となる科目であり、使用する器具や材料も数多いものである。それらを理解・習熟する為に積極的に取り組む姿勢が必要である。				
参考書	江澤庸博著 新人歯科衛生士・歯科助手ポケットマニュアル第2版 医歯薬出版				
実務経験のある教員(概要、科目との関連性)	歯科医院での勤務経験を活かして診療補助業務について講義・実習を行う。				

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SBOs)
1	医療安全と感染予防(講義)	標準予防策を述べられる。 感染リスクとその対策について説明できる。 バリアの範囲を図示できる。
2 3	医療安全と感染予防(実習)	感染予防策について討議できる。 バリアテクニックを実施できる。 バリアテクニックを評価できる。
4 5 8 9	暫間被覆冠(単冠)(ブリッジ)	歯牙形態を顎模型と対比できる。 指導や助言を行動に移すことができる。 必要な材料、使用器具を準備できる。 作製時間に配慮できる。 安全に配慮できる。
6 7	歯科材料復習(セメント・仮封材)	適切なセメントを選択できる。 適切な器材を選択できる。 適切な填入操作ができる。 余剰セメントの除去ができる。 仮封材の種類を列挙できる。 Ⅱ級窩洞への仮封操作ができる。
10 11	歯科材料(各種セメント・床用材料)	各種セメントの用途を説明できる。 適切な器具を準備する。 床材料の特徴、種類がわかる。
12 13	ラバーダム防湿(基礎実習)	手順を述べることができる。 使用器具と用途を述べることができる。 適切な器具の操作ができる。
14	主な事故とその対策 有病者への対応	全身疾患とその特徴を説明することができる。 口腔に現れる特徴と診療での注意点を説明できる。 偶発事故について対応法を説明できる。 資料に要点をまとめ、記述することができる。
15 16	各治療時の診療補助(保存分野①)	術式を説明できる。 必要な器具を準備できる。 マトリックスバンドによる隔壁を行うことができる。 ラバーダム防湿ができる。
17 18	ラバーダム防湿(相互実習)	患者にラバーダム防湿の説明ができる。 適切な器具の取り扱いができる。 歯牙に合うクランプを選択できる。 多数歯露出を行うことができる。
19 20	印象採得(復習)	各種印象材を使い印象採得することができる 連合印象の補助ができる
21 22	各治療時の診療補助(復習)	術式を説明できる。 歯科器材の円滑な取り扱いができる。
23 24	暫間被覆冠(ブリッジ)	適切な量を準備できる。 マージン部分を記すことができる。 形態を調整することができる。 時間内に作製することができる。
25 26	各治療時の診療補助(保存分野③)	術式を説明できる。 必要な器具を準備できる。 歯肉圧排の器具を操作できる。 連合印象の補助ができる。
27 28	各治療時の診療補助(歯周治療分野)	術式を説明できる。 適切な器具の受け渡しができる。 歯周パックの取り扱いができる。 安全に配慮できる。
29 30	暫間被覆冠(ブリッジ)セミナー	歯牙形態を顎模型と対比できる。 指導や助言を行動に移すことができる。 必要な材料、使用器具を準備できる。 作製時間に配慮できる。 安全に配慮できる。
31 32	各治療時の診療補助(補綴分野)	術式を説明できる。 必要な器具を準備できる。 適切な器具の受け渡しができる。 歯肉圧排の器具を操作できる。 精密印象採得の補助ができる。
33 34	各治療時の診療補助(歯内療法分野)	術式を説明できる。 必要な器具の特徴、用途を理解する。 適切な器具の受け渡しができる。 綿栓を準備することができる。
35 36	各治療時の診療補助(矯正歯科分野)	術式を説明できる。 必要な器具の特徴、用途を理解する。 接着剤の準備ができる。
37 38 40	まとめ(復習)	歯科器材の円滑な取り扱いができる。 臨床実習に向け、手技を確実なものにできる。